

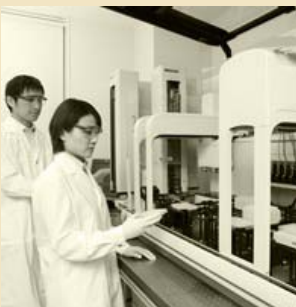


証券コード: 4579



2011年12月期
決算説明会

2012年2月20日



<http://www.raqualia.co.jp>

ラクオリア創薬株式会社

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2012

2011年12月期 実績	6
グローバル創薬イノベーターを目指して	11
成長に貢献するプログラムのご紹介	31

1

- 01.26 - アシッドポンプ拮抗薬の物質特許が韓国で成立

2

- 02.08 - 統合失調治療薬ジプラシドンの
日本国内における臨床第II相試験開始

2011年度 上半期の主なニュース

- 2
- 02.7 - Shireに対してグレリン受容体作動薬用途の米国内における非独占的使用権を許諾

- 3
- 03.14 - Meiji Seika ファルマ(株)とジプラシドンに関するライセンス契約を締結

- 5
- 05.18 - シクロオキシゲナーゼ-2(COX-2)阻害薬を製品情報に追加
 - 05.7-10 - Digestive Disease Week 2011(Chicago)で以下の研究成果を発表
 - アシッドポンプ拮抗薬につき口頭発表
 - 5-HT₄部分作動薬につきポスター発表
 - 5-HT_{2B}拮抗薬につきポスター発表

- 6
- 06.16 - 大阪証券取引所JASDAQ市場グロースへの上場承認

2011年度 下半期の主なニュース

7

- 07.20 - 大阪証券取引所JASDAQ市場グロース上場
- 07.28- CJ第一製糖株式会社(韓国)と5-HT₄部分作動薬のライセンス契約締結

8

- 08.1 - 青木初夫氏の顧問就任 略歴: アステラス製薬株式会社 代表取締役会長
日本製薬工業協会 会長

9

- 09.27 - アシッドポンプ拮抗薬治験総括報告書提出

11

- 11.01 - 当社社長が国際業界専門誌「Pharmaceutical Executive」において「変革をもたらした30人」に選出
- 11.14- アシッドポンプ拮抗薬の韓国での臨床第I相試験の開始

12

- 12.02 - 当社社長がEOY Japan(アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・ジャパン)のファイナリストに選出
- 12.15 - 国立大学法人千葉大学医学部附属病院との共同研究契約締結
- 12.28 - 当社シクロオキシゲナーゼ-2(COX-2)阻害薬に関する基本合意締結

2011年12月期 実績

2011年12月期 決算ハイライト

(単位:百万円)

	2010年12月期	2011年12月期		2011年12月期	前年比および計画比(上限)	
	(通期実績)	(通期計画)		(通期実績)	増減率(%)	
	1月-12月	下限	上限	1月-12月	前年比	計画比(上限)
売上高	1,186	1,290	1,777	684	△42.3%	△61.5%
事業費用	2,532	3,200	3,240	2,600	2.7%	△19.8%
営業損益	△ 1,345	△ 1,910	△ 1,463	△ 1,916	-	-
当期純損益	△ 1,307	△ 1,901	△ 1,454	△ 1,916	-	-

決算ハイライト

- 売上高は、ジプラシドン、5-HT₄部分作動薬を計上、シクロオキシゲナーゼ-2(COX-2)阻害薬、アニデュラファンギン他については、引き続き導出契約締結に向けて交渉を継続
- 事業費用の計画比縮小の理由としては、売上未達による販売手数料や支払ロイヤルティの減少、委託研究費などの費用計上のタイミングの遅れ、全般的なコスト削減努力の効果

2011年12月期 貸借対照表

(単位:百万円)

	2010年12月末		2011年12月末		増減率 (%)
	(前年実績)	構成比(%)	(当期実績)	構成比(%)	
流動資産合計	3,845	86%	7,783	93%	102%
現預金	3,392	76%	7,672	92%	126%
売掛金	353	8%	1	-	△100%
その他	98	2%	109	1%	11%
固定資産合計	615	14%	595	7%	△3%
資産合計	4,460	100%	8,379	100%	88%
負債合計	269	6%	204	2%	△24%
純資産合計	4,191	94%	8,174	98%	95%
負債・資本合計	4,460	100%	8,379	100%	88%

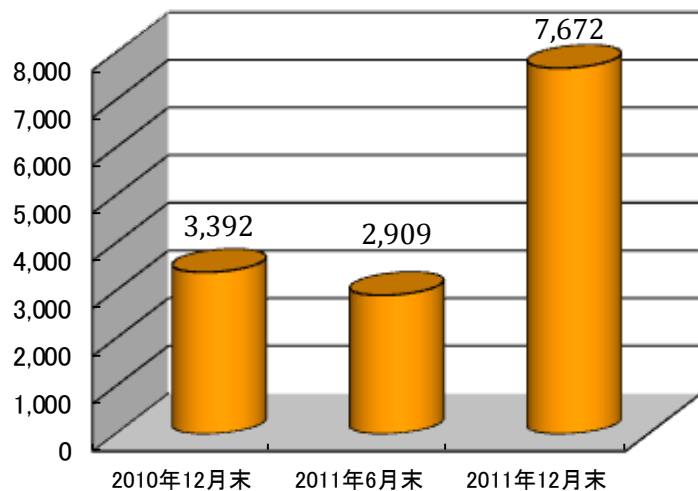
決算ハイライト

- 2010年12月末比で現預金の残高は42.7億円増加
- 2010年12月末比で純資産の残高は39.8億円増加
- 7月19日に59.2億円の公募増資による資金調達を実施した

現預金残高の推移/コスト構造と残高推移

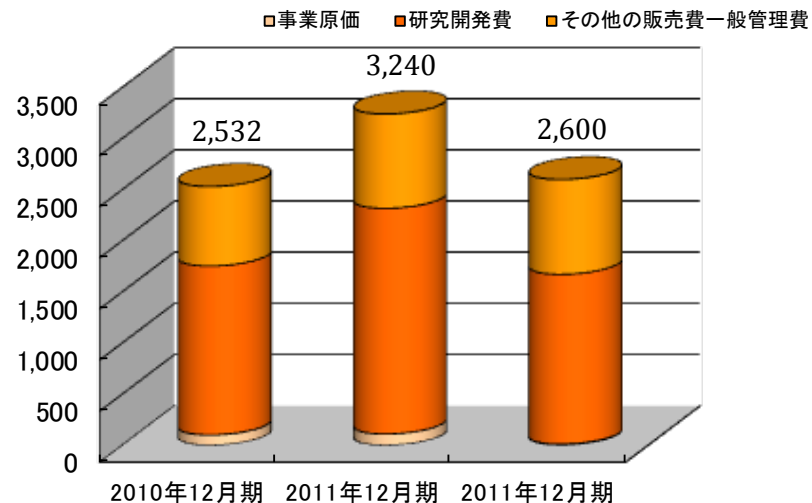
(単位:百万円)

現預金残高の推移



(単位:百万円)

事業費用の推移



(通期実績) (通期計画) (通期実績)

ハイライト

- 7月19日に59.2億円の公募増資を実施し
12月末時点での現預金の残高は76.7億円

ハイライト

- 研究開発費16.6億円
- 販売管理費9.2億円
- 事業原価は0.1億円

2012年度予算の概要

(単位:百万円)

	事業収益	営業損失(△)	経常損失(△)	当期純損失(△)
平成23年12月期(実績)	684	△1,916	△1,906	△1,916
平成24年12月期(計画)	1,636~2,178	△1,666~△1,168	△1,647~△1,148	△1,700~△1,202

2012年の交渉中プログラム

国内企業との契約

- ・ アニデュラファンギン(抗真菌剤)

グローバル・国内企業との 導出および共同研究契約

- ・ 5-HT₄部分作動薬(アルツハイマー)
- ・ 5-HT₄部分作動薬(胃食道逆流症)
- ・ EP₄拮抗薬(痛み、自己免疫疾患、癌)
- ・ シクロオキシゲナーゼ-2(COX-2)阻害薬
- ・ アシッドポンプ拮抗薬
- ・ イオンチャネルプログラム

収益構造

契約一時金収入

- ・ 2012年交渉中プログラムより2012年12月期に計上予定

マイルストーン収入

- ・ 2012年12月期より計上予定

ロイヤルティー収入

- ・ 2016年12月期より計上予定

探索研究戦略

創薬力

- ・ 毎年1~2つの新たな開発化合物を創出

開発戦略

効果的な開発投資

- ・ 5-HT₄部分作動薬(臨床第 I 相試験開始に向けて準備中)

アライアンス・マネジメント

早期の収益実現化

- ・ アライアンス・マネジメントによるパートナー企業の開発促進

グローバル創薬イノベーターを目指して

ラクオリア創薬のさらなる成長

設立

創業

成長

「グローバル創薬イノベーター」
を目指す

2012年度：
成長戦略の加速

2011年7月
株式公開で
さらなる成長へ

2008年7月
EBOでファイザーから
スピニアウト

2008年2月
ラクオリア創薬設立

ラクオリア創薬の戦略

- オープン・コラボレーションを原動力として、高い生産性を実現して、日本発の「グローバル創薬イノベーター」を目指す

RaQualia

- 事業計画の達成
- 継続的な企業価値の向上
- コーポレートブランドの定着

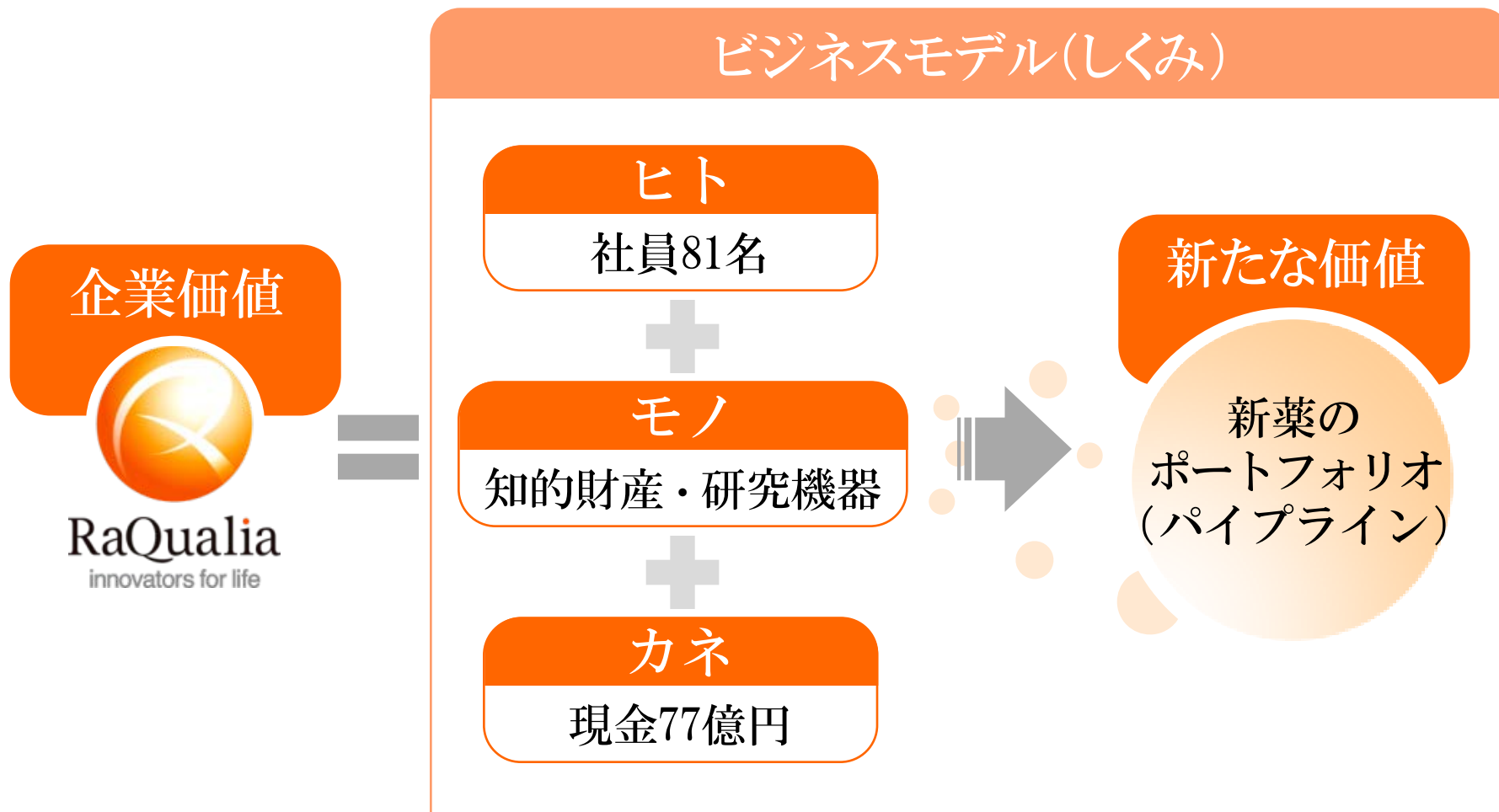
高い創薬力の維持

ポートフォリオの充実と価値の最大化

導出活動の推進、アライアンス・マネジメントの強化

継続的なニュース・フロー、新規株主開拓

Brand 戦略の展開とビジネスモデルの進化



成長するラクオリア創薬の姿(成功のイメージ)

ビジョン達成に向け確実に前進しており、
多くの新薬を患者様に届けながら、持続的に成長して、
社会に貢献している革新的な会社

ヒト

- 志ある、多様で優秀な人材が集い、ビジョン達成に挑戦している
- 信頼に基づくIOCNを働く文化に、社員一人ひとりが、貢献し、成長を実感して、楽しみながら、生き生きと働いている

モノ

- 医療ニーズの高い(未充足の医療ニーズ)分野で、多くの“新薬の種”が継続的に創出されて、さらにはパートナー企業とライセンス契約が結ばれている、高い価値のポートフォリオ(パイプライン)ができている

カネ

- 売上が継続的に向上して、利益率 $>30\%$ を安定的に確保している

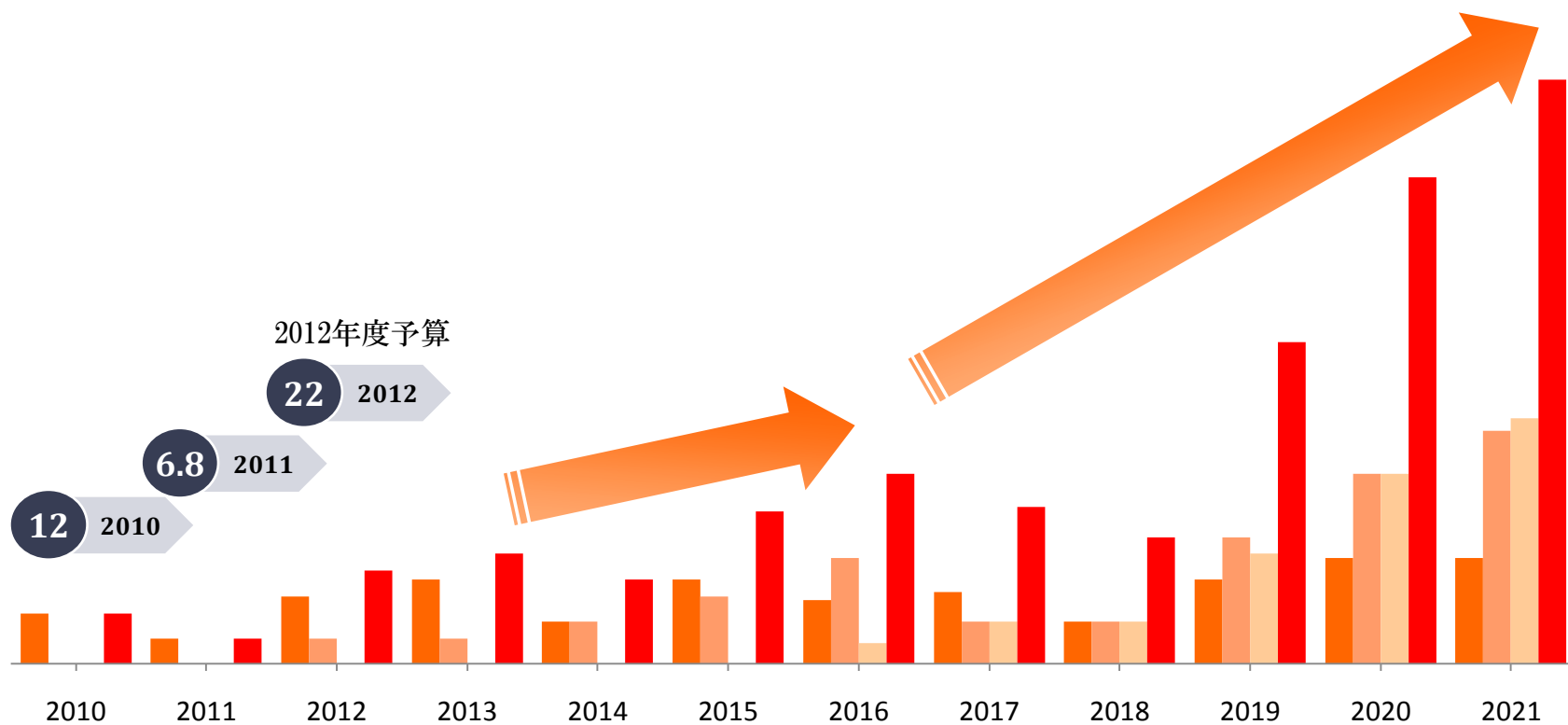
“新薬の種”

- 継続的に“開発化合物”を創出
- ポートフォリオ・マネジメント
- 高収益・早期黒字化

継続的な収益の確保と成長性

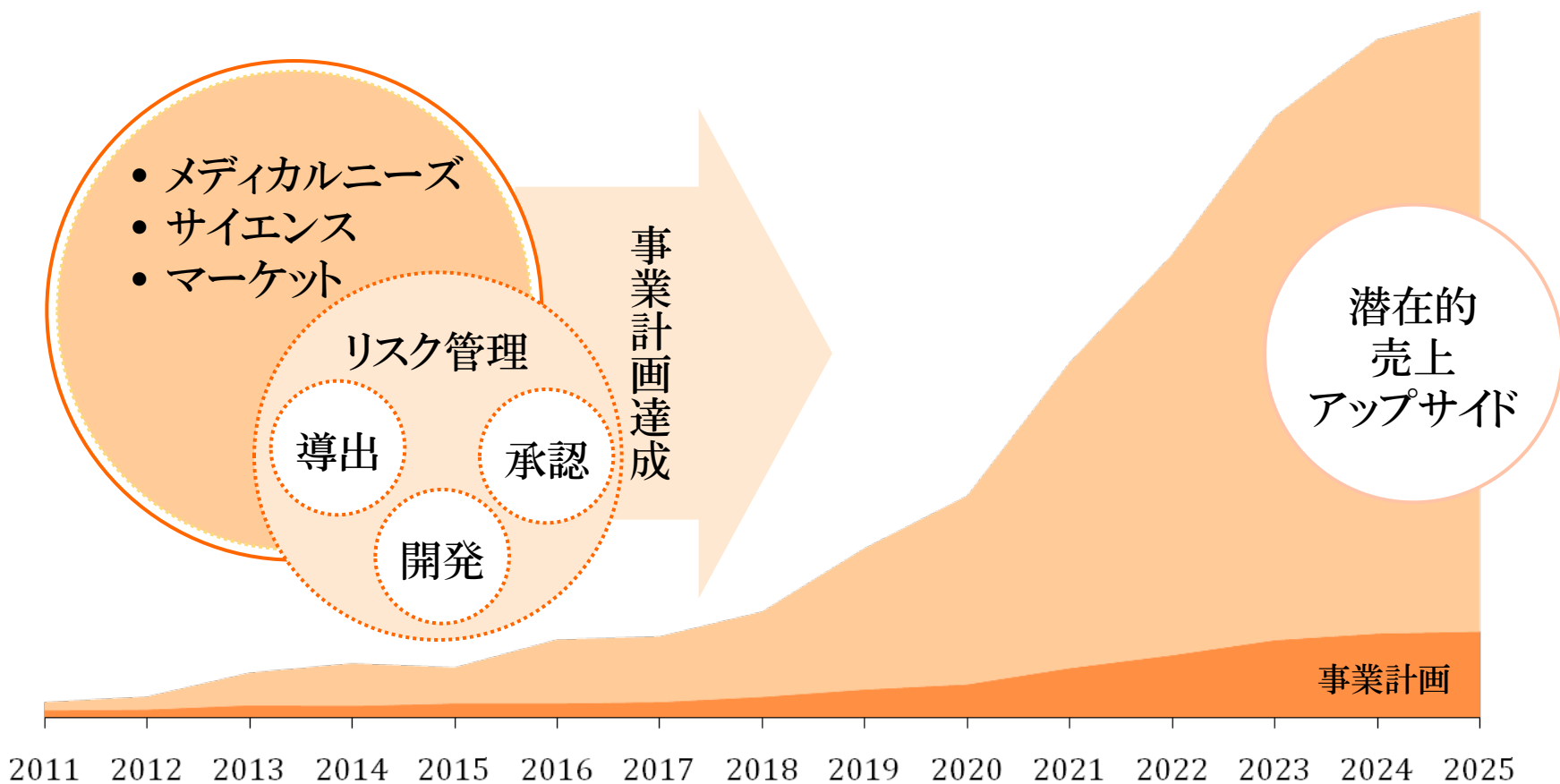
(単位:億円)

■ 契約一時金収入 ■ マイルストーン収入 ■ ロイヤルティー収入 ■ 合計

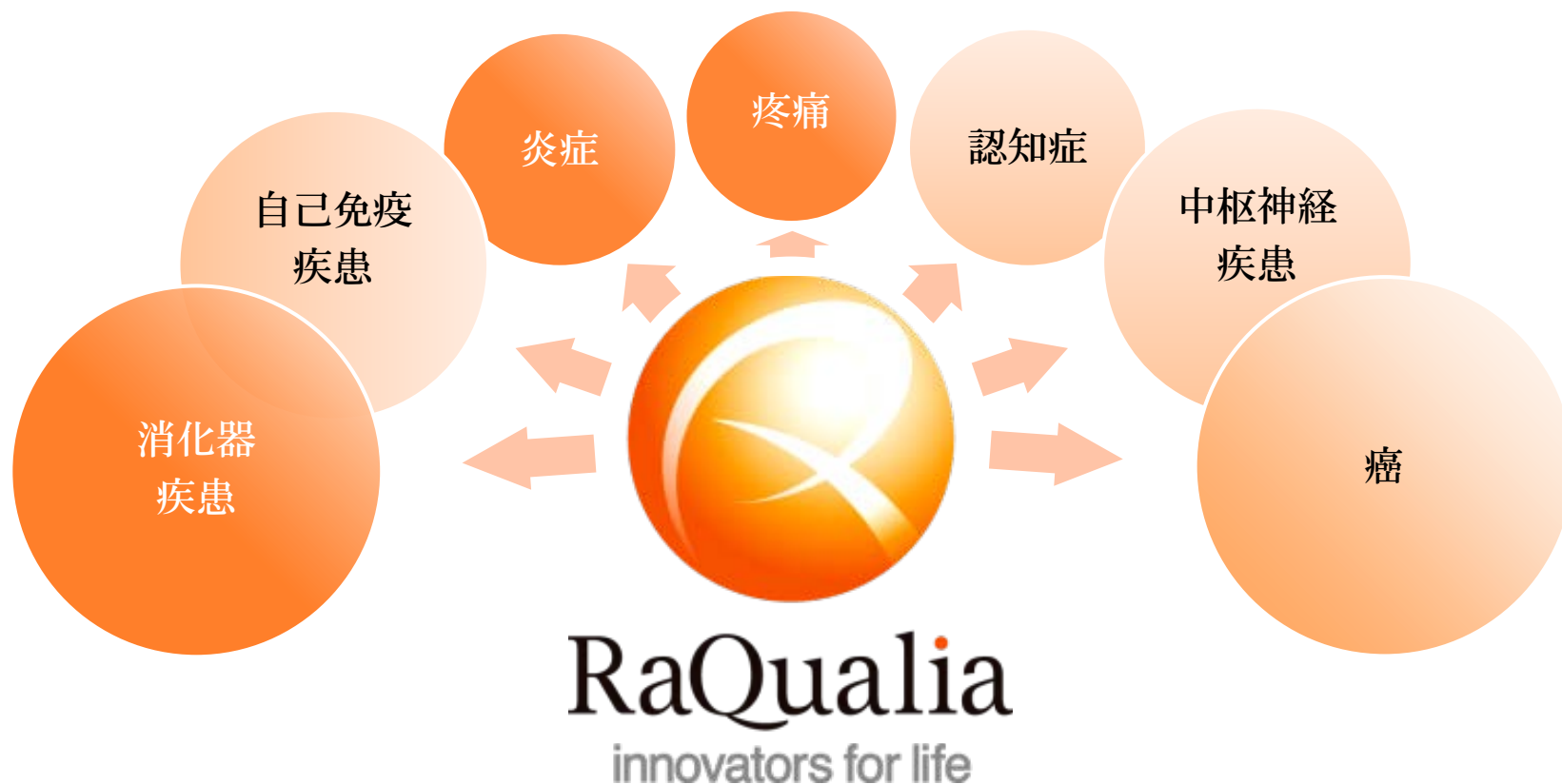


事業計画達成から潜在的売上アップサイド

ポートフォリオ・マネジメントによる潜在的な売上アップサイドの実現と
リスク管理による事業計画達成への蓋然性



未充足の医療ニーズに応える革新的治療薬





RaQualia
Innovators for life

オープン・コラボレーション・ネットワーク (Integrated Open Collaboration Network)

2011年9月現在

世界17カ国、延べ400件以上の連携を実現し、オープン・コラボレーションをイノベーションの原動力とした研究開発体制

RaQualia

- ・ 顧客価値
- ・ 品質
- ・ スピード
- ・ 効率
- ・ コミュニケーション

CRO (業務受託機関)

- ・ 化学合成
- ・ 各種動物試験 (薬理・動態・安全性)
- ・ 製剤処方検討/治験薬製造
- ・ 臨床試験など

97社延べ314件

コンサルタント

- ・ 研究開発
- ・ 事業開発

現在21名 (延べ71名)

大学

- ・ 共同研究
- ・ 試料提供

19大学延べ32件

公的研究機関

- ・ 共同研究

1機関延べ5件

成長を支える充実したポートフォリオ (製品)

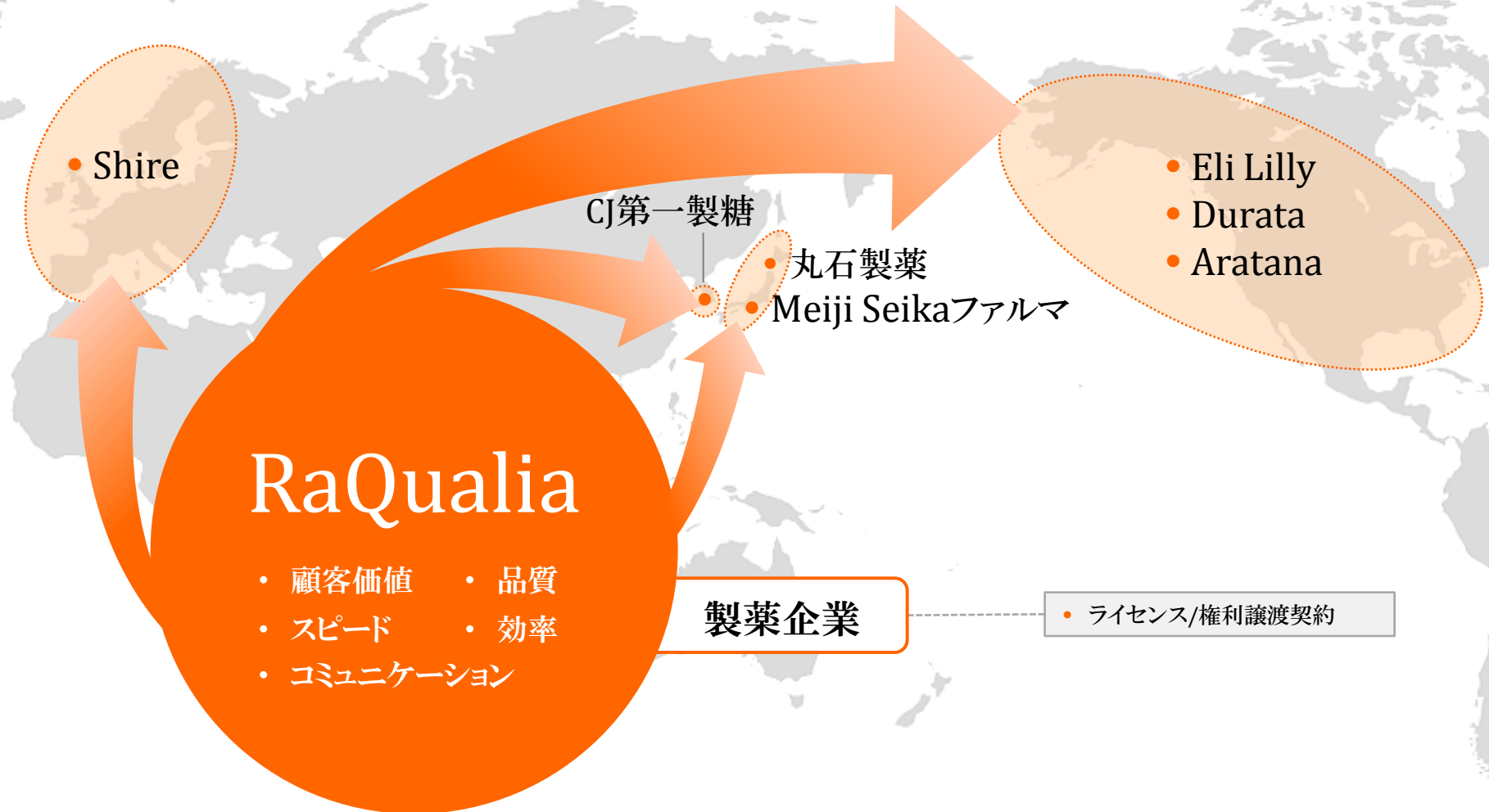
研究開発プログラム

プログラム	化合物コード	適応症
EP ₄ 拮抗薬	RQ-00000007 RQ-00000008	慢性疼痛、術後疼痛、癌性疼痛、自己免疫疾患
	RQ-00000007 RQ-00000008	大腸癌、胃癌、肺癌、前立腺癌等
	RQ-00000007	動物薬：鎮痛
5-HT ₄ 部分作動薬	RQ-00000009	アルツハイマー病
	RQ-00000010	胃食道逆流症 (GERD)
アシッドポンプ拮抗薬	RQ-00000004 RQ-00000774	胃食道逆流症 (GERD)
	RQ-00317076	急性痛、肺癌、大腸癌
シクロオキシゲナーゼ-2(COX-2)阻害薬	RQ-00317076	急性痛、肺癌、大腸癌
グレリン受容体作動薬	RQ-00000005	脆弱、食欲不振
5-HT _{2B} 拮抗薬	RQ-00310941	過敏性腸症候群 (IBS)
CB ₂ 作動薬	RQ-00202730	過敏性腸症候群 (IBS)
モチリン受容体作動薬	RQ-00201894	機能性胃腸症 (FD)
選択的ナトリウムチャンネルブロッカー		神経因性疼痛
アニデュラファンギン	RQ-00000001	深在性真菌薬
ダルババンシン	RQ-00000002	MRSA感染症
ジプラシドン	RQ-00000003	統合失調症

開発化合物の研究開発ステージ

プログラム	化合物コード	適応症	研究開発ステージ				
			探索研究	前臨床	フェーズ 1	フェーズ 2	フェーズ 3
EP ₄ 拮抗薬	RQ-00000007	慢性炎症性疼痛	○	○	○	●	
		急性痛, 炎症, 自己免疫疾患, アレルギー, 癌	○	○	●		
	RQ-00000008	慢性炎症性疼痛, 急性痛, 炎症, 自己免疫疾患, アレルギー, 癌	○	●			
5-HT ₄ 部分作動薬	RQ-00000009	アルツハイマー病	○	○	●		
	RQ-00000010	胃食道逆流症	○	●			
アシッドポンプ拮抗薬	RQ-00000004	胃食道逆流症	○	○	●		
	RQ-00000774	胃食道逆流症	○	●			
シクロオキシゲナーゼ-2 (COX-2) 阻害薬	RQ-00317076	急性痛	○	○	○	●	
グレリン受容体作動薬	RQ-00000005	脆弱	○	○	○	●	
		胃食道逆流症	○	○	●		
5-HT _{2B} 拮抗薬	RQ-00310941	過敏性腸症候群	●				
CB ₂ 作動薬	RQ-00202730	過敏性腸症候群	●				
モチリン受容体作動薬	RQ-00201894	機能性胃腸症	●				
選択的ナトリウムチャンネルブロッカー			●				

世界4カ国7社9件のライセンスアウト(導出)の実績



プログラム	化合物コード	導出先	権利
EP ₄ 拮抗薬	RQ-00000007	丸石製薬	日本、韓国、中国、台湾 (注射剤)
		Aratana Therapeutics Inc.	全世界 (動物薬)
アシッドポンプ拮抗薬	RQ-00000004 RQ-00000774	CJ 第一製糖	韓国、中国、台湾
グレリン受容体作動薬	RQ-00000005	Aratana Therapeutics Inc.	全世界 (動物薬)
ダルババンシン (抗MRSA抗菌剤)	RQ-00000002	Durata Therapeutics Inc.	日本
ジプラシドン(統合失調症・ 双極性障害薬)	RQ-00000003	Meiji Seika ファルマ	日本
5-HT ₄ 部分作動薬 (消化管領域)	RQ-00000010	CJ 第一製糖	韓国、中国、台湾、インド、 東南アジア
特定のイオンチャネル		Eli Lilly and Company	全世界

2010年の実績： 11.9億円

2010年7月 丸石製薬

EP₄拮抗薬(注射剤)の疼痛領域

2010年9月 CJ第一製糖

アシッドポンプ拮抗薬の消化管領域

2010年12月 Durata

ダルババンシン(抗MRSA抗菌剤)

2010年12月 Eli Lilly

イオンチャネル遮断薬の共同研究開発

2010年12月 Aratana

動物薬： EP₄拮抗薬、グレリン受容体作動薬

2011年の実績： 6.8億円

2011年2月 Shire A.G.

グレリン受容体作動薬(用途特許)

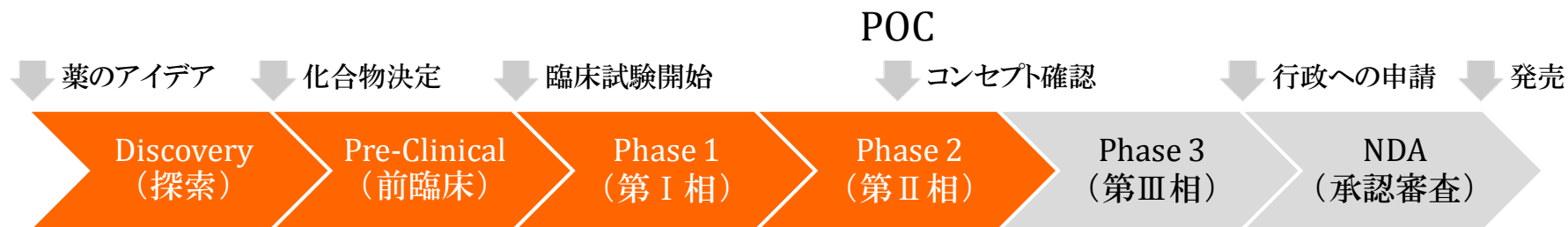
2011年3月 Meiji Seika ファルマ

ジプラシドン(統合失調症・双極性障害薬)

2011年7月 CJ第一製糖

5-HT₄部分作動薬の消化管領域

経営基盤を支えるライセンス戦略



事業領域のすべてのステージから
ライセンスアウトを実践

早期提携による
製品開発推進

パートナー企業の開発力を活用

- Eli Lilly
- CJ第一製糖
- 丸石製薬

短期から中期の
財務体質の強化

早期上市製品による安定した
ロイヤルティー収入の獲得

- Aratana
- Durata
- Meiji Seikaファルマ

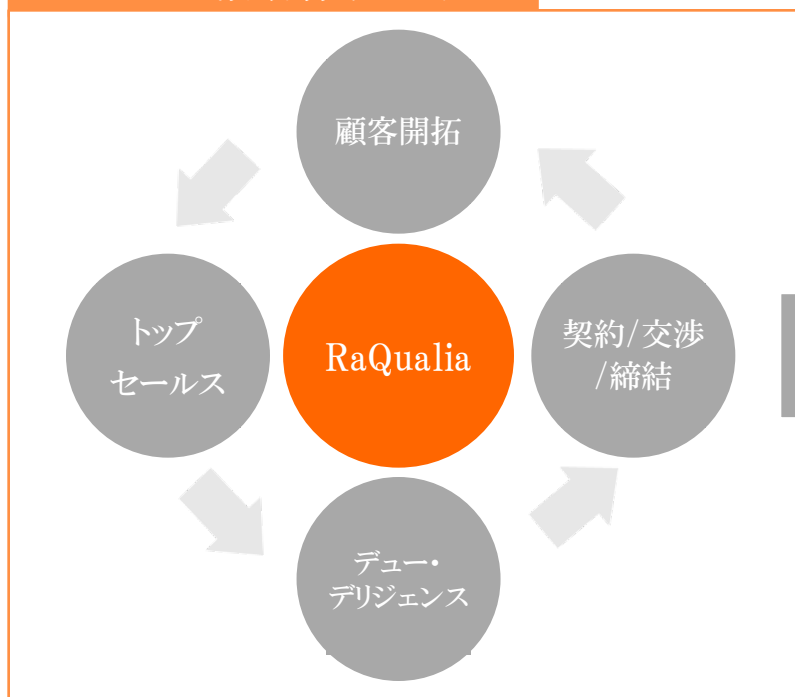
中期から長期の
製品価値の最大化

高質な研究開発成果に基づく
グローバル大手企業への導出

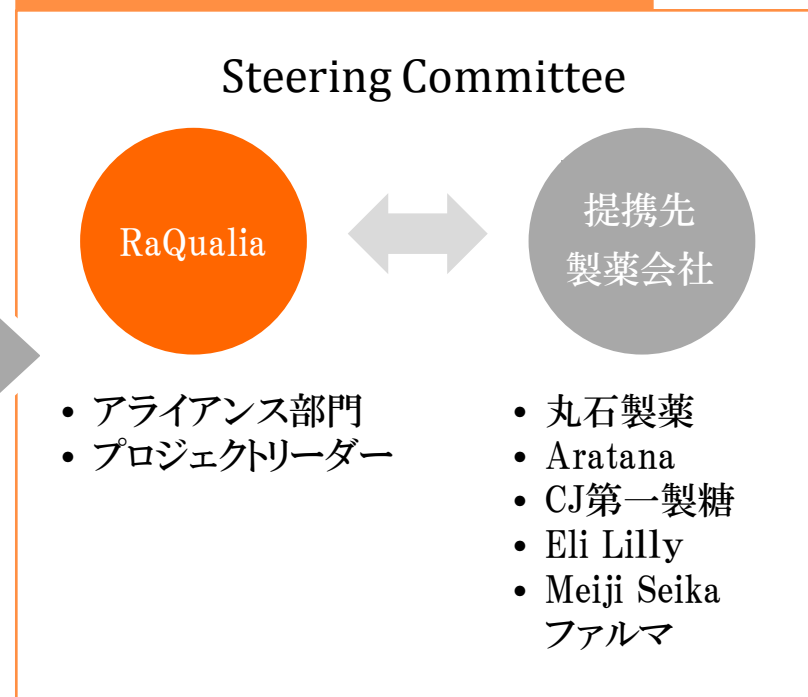
- Eli Lilly

ライセンス活動体制の整備・確立による短期収益(UF)の獲得とアライアスマネジメントの強化による中長期の収益(MS/RR)の獲得

ライセンス活動体制の確立



アライアンス・マネジメントの強化

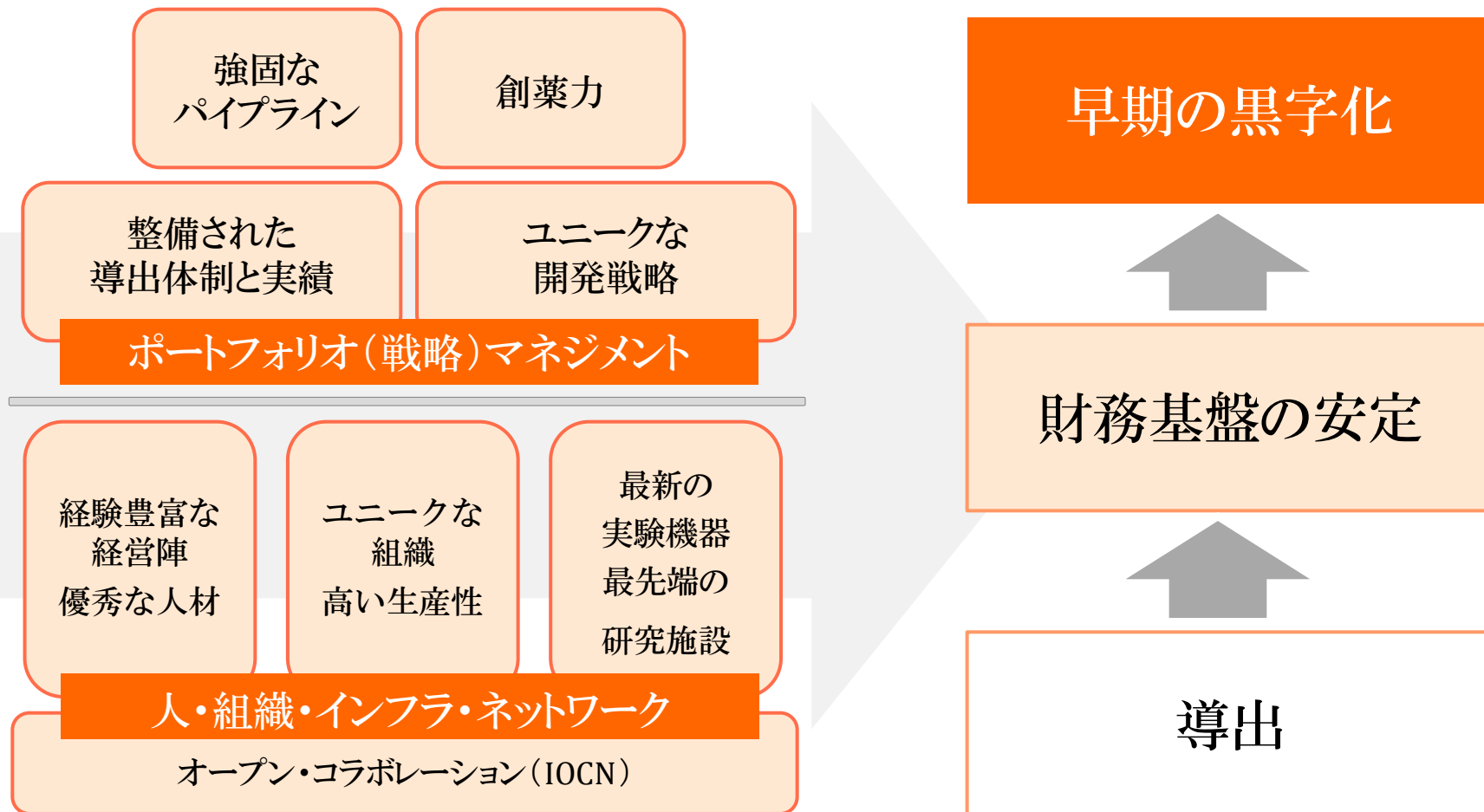


- 2010年実績：6プログラム、5社とライセンス契約締結
- 2011年実績：3プログラム、3社とライセンス契約締結



ラクオリア創薬の魅力

- 革新的なビジネスモデルによる継続的な成長



ビジネスモデルの将来的な展開

研究プログラム
の提携

将来的なビジネス
戦略

P2b & P3の
実施

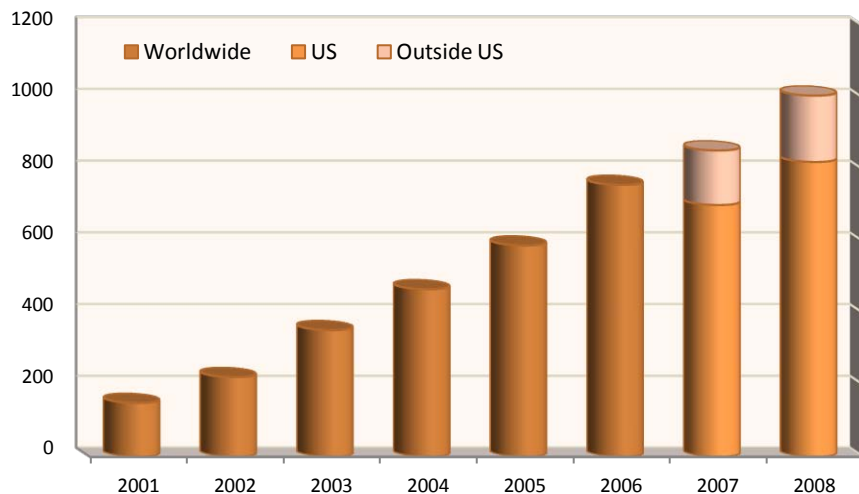
開発コラボレ
ーション

大学・公的機
関とのコラボ
レーション

RaQualia
innovators for life

成長に貢献するプログラムのご紹介

ジプラシドン： 統合失調症



2011年3月Meiji Seikaファルマに導出済

特長

- 2008年度に売上高1,000億円を突破
- 米国において初回選択薬
- 糖代謝異常発生リスクが低く、血糖値上昇作用及び体重増加作用がない

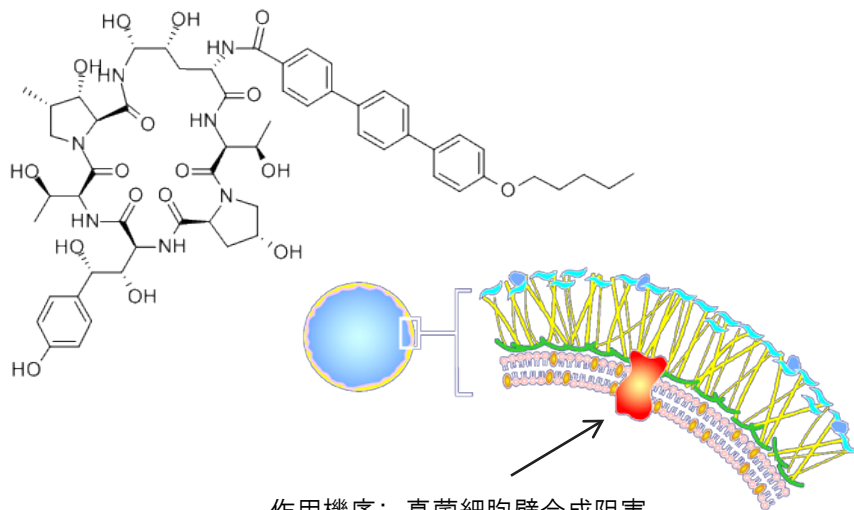
【出所】ファイザー社 Financial report

海外で既に販売されており、迅速な開発・承認により早期の収益獲得を期待

成長性・将来性

- 欧米及びアジアを含む76の国と地域で販売(2010年3月現在)
- 他剤からの乗り換えが容易
- 迅速な開発・承認による早期収益化
- 患者さんに新たな選択肢

アニデュラファンギン： 深在性真菌症



作用機序： 真菌細胞壁合成阻害

導出交渉中

特長

- 2014年売上予測は200億円
- 他の抗真菌剤の持つ課題を大幅に改善
(副作用、耐性菌、薬物相互作用等による使用制限が無い)

【出所】 Evaluate Pharma, Cowen & Co; QGC analysis

海外で既に販売されており、迅速な開発・承認により早期の収益獲得を期待

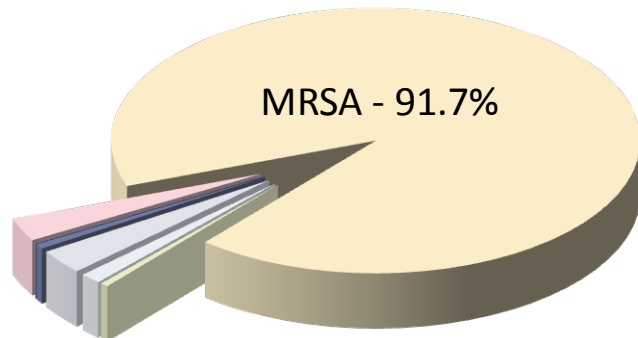
成長性・将来性

- 海外51カ国で承認及び40カ国で販売(2010年6月現在)
- 迅速な開発・承認による早期収益化
- 競合薬に勝る治療成功率

ダルババンシン： MRSA 感染症

日本における薬剤耐性菌感染患者のほとんどはMRSA感染によるものである

薬剤耐性菌別感染症患者の内訳



MRSA-91.7%, MβLGNB - 0.6%, PRSP/PISP - 3.0%, MDRP - 1.3%, MRSA + MDRP - 0.5%, All Others - 2.8%, VRE - 0.0%, VRSA - 0.0%, MRSA + MβLGNB - 0.1%

2010年12月Durata社に権利譲渡済

特長

- 既存薬と同等以上の効果
- 腎臓や骨髄抑制に対するリスク軽減
- 他に例のない週一回の投与

Durata社が日本を含む全世界の権利を保有し、開発を実施中

成長性・将来性

- 臨床第Ⅲ相試験(海外)、前臨床試験を終了(日本)
- 患者・医療従事者の負担を軽減
- 抗菌薬の開発に特化したDurata社による迅速な開発による早期収益化

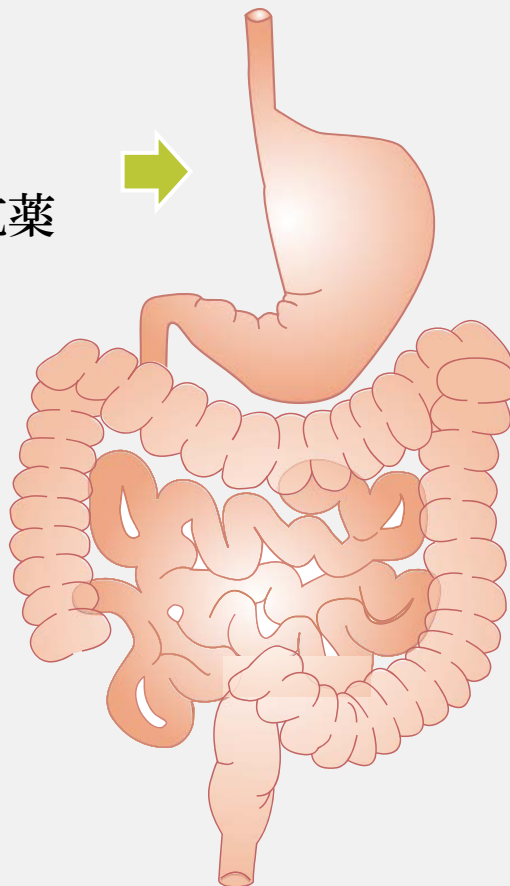
充実した消化管疾患領域のポートフォリオ

胃酸分泌抑制

- アシッドポンプ拮抗薬
(RQ-4)

内臓痛の改善及び 消化管運動正常化

- カンナビノイド受容体
CB2作動薬
(RQ-202730)
- セロトニン受容体
5-HT_{2B}拮抗薬
(RQ-310941)

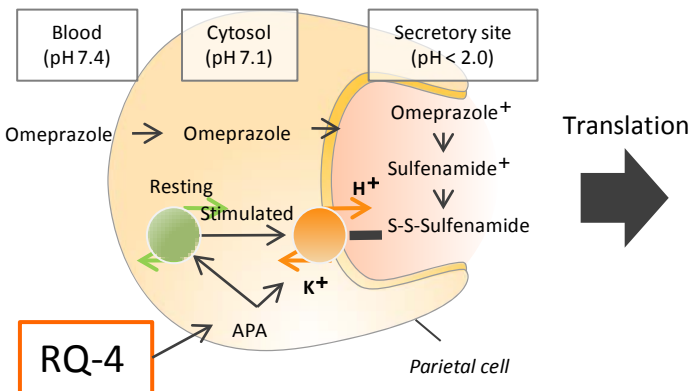


消化管運動亢進

- セロトニン受容体
5-HT₄部分作動薬
(RQ-10)
- モチリン受容体作動薬
(RQ-201894)
- グレリン受容体作動薬
(RQ-5)

アシッドポンプ拮抗薬RQ-4：胃食道逆流症

作用機序・薬理作用



求める 製品プロフィール

- 速やかに効く
- 持続的に効く
- 空腹時に効く
- 夜中に効く

CJ第一製糖に導出済
韓国/東アジアを除く地域で導出交渉中

特長

- 2009年競合既存薬の市場規模が25,000百万ドル(約2兆円)
- 胃酸分泌抑制が競合既存薬と比較して優れた効果(速やか、持続的、空腹時、夜間)

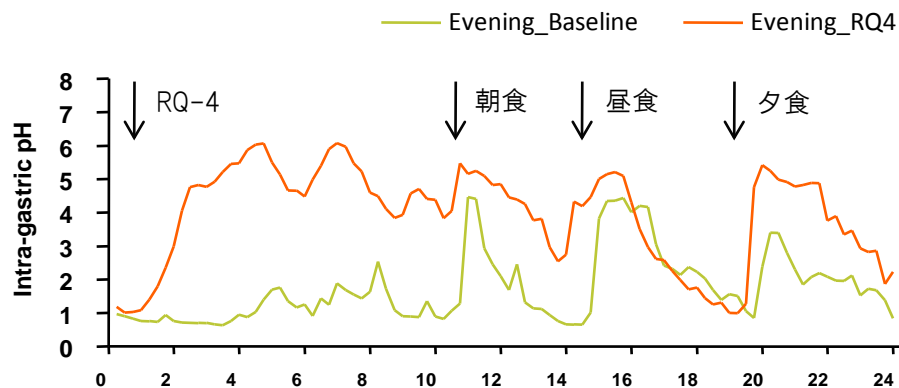
【出所】 Astra Zeneca社 Annual report

臨床成果によるグローバルライセンスアウトを目指す

成長性・将来性

- 臨床第 I 相試験で有効性・安全性を確認
- 競合既存薬からの差別化
- 未充足の胃食道逆流症への新規治療薬

アシッドポンプ拮抗薬RQ-4： 胃食道逆流症



成人健常男性における胃内pH変化へのRQ-00000004 (100mg)の効果
(データは6名の平均値)(横軸は時刻を示し、Time 0は午後10時に相当)

CJ第一製糖に導出済
韓国/東アジアを除く地域で導出交渉中

特長

- 2009年競合既存薬の市場規模が25,000百万ドル(約2兆円)
- 胃酸分泌抑制が競合既存薬と比較して優れた効果(速やか、持続的、空腹時、夜間)

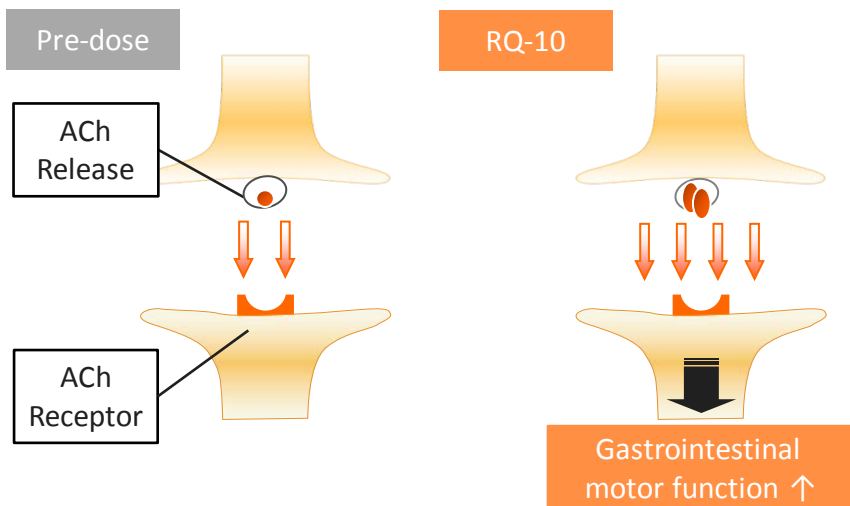
【出所】 Astra Zeneca社 Annual report

臨床成果によるグローバルライセンスアウトを目指す

成長性・将来性

- 臨床第 I 相試験で有効性・安全性を確認
- 競合既存薬からの差別化
- 未充足の胃食道逆流症への新規治療薬

5-HT₄部分作動薬RQ-10：胃食道逆流症



CJ第一製糖に韓国他地域の権利導出済

特長

- 2006年競合既存薬の市場規模が13,000百万ドル(約1兆円)
- 強い薬理作用
- 前臨床試験で安全性を担保

【出所】 データモニター

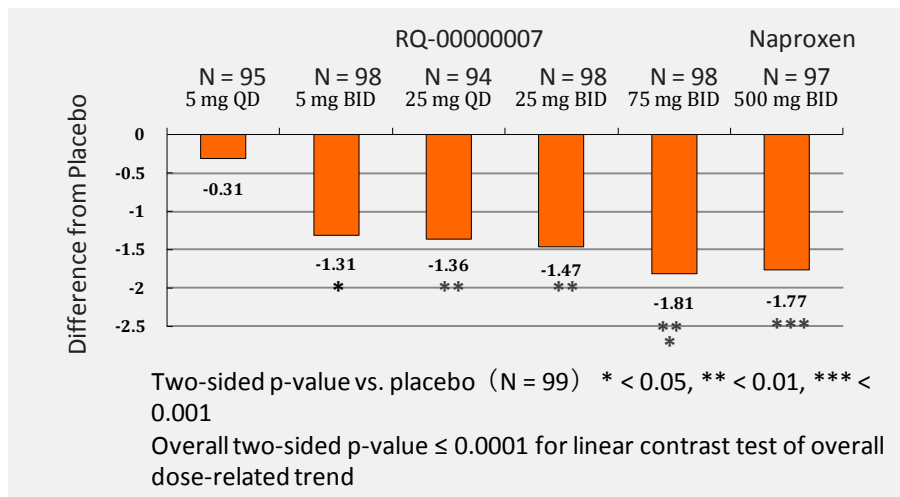
大きな市場ニーズと臨床試験開始による早期ライセンスアウトを期待

成長性・将来性

- 非臨床試験を終了、2012年初期の臨床第 I 相試験開始に向けて準備中
- 競合既存薬からの差別化
- 未充足の胃食道逆流症に有効

EP₄拮抗薬RQ-7：慢性炎症性疼痛

RQ-7 変形性関節症患者における臨床第II相試験



米国Aratana社で開発開始(動物薬)

特長

- 疼痛の競合既存薬市場規模が平成27年予想で11,549百万ドル(約9,800億円)
- 競合既存薬(NSAIDs)と同等の鎮痛効果
- 胃腸及び腎機能障害等の副作用軽減

【出所】 Decision Resource

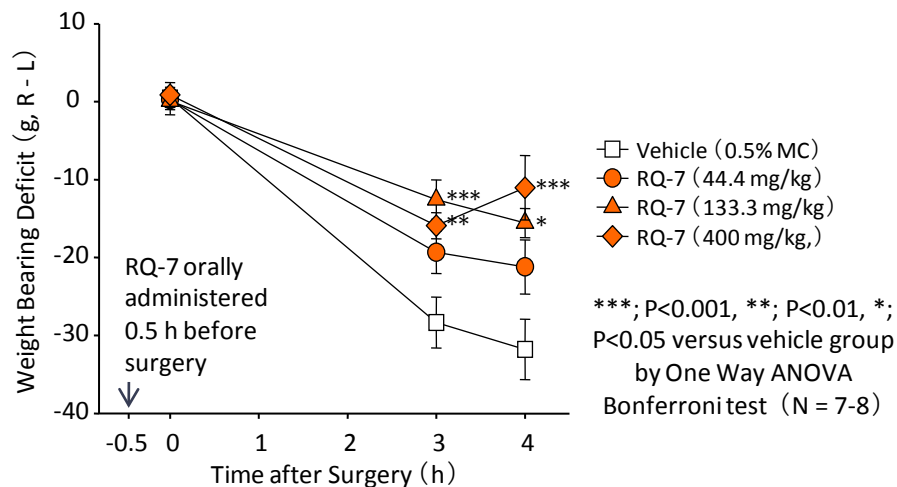
大きな市場ニーズとグローバルでのライセンスアウトを期待

成長性・将来性

- 前期臨床第II相試験を終了
- 低副作用リスク
- 既存薬の置き換え

EP₄拮抗薬RQ-7：急性疼痛

ラット術後痛モデルにおけるRQ-7の薬効評価



丸石製薬で国内開発中(静注剤)

特長

- 疼痛の競合既存薬市場規模が平成27年予想で11,549百万ドル(約9,800億円)
- 競合既存薬(NSAIDs)と同等の鎮痛効果
- 胃腸障害性等の障害の軽減

【出所】 Decision Resource

大きな市場ニーズとグローバルでのライセンスアウトを期待

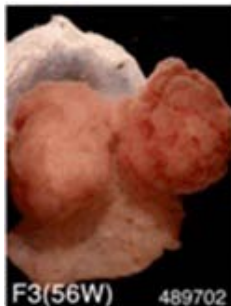
成長性・将来性

- 前臨床試験を実施中
- 新たな作用機序、“First-in-Class”の可能性
- 低副作用リスク
- 術後痛、癌性疼痛治療薬としての期待

EP₄拮抗薬RQ-7/RQ-8： 癌

対照群

Tumor area was measured by Image J on JPEG photographs at 33.3%



処置群

Tumor area was measured by Image J on JPEG photographs at 33.3%



マウス胃癌モデルにおいて明確な癌の縮小

導出交渉中

特長

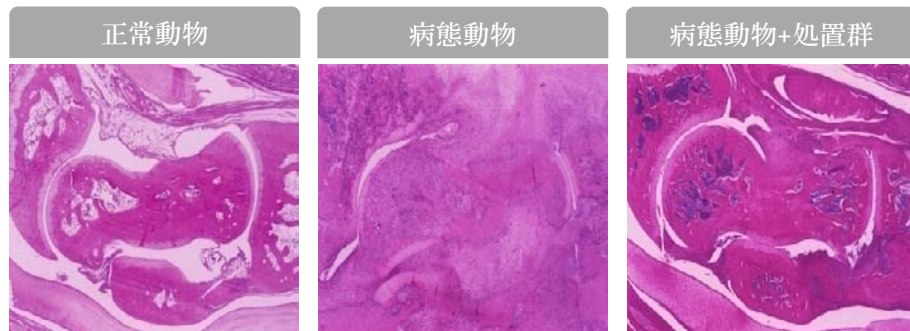
- 2009年競合既存薬の市場規模が52,372百万ドル(約4.5兆円)
- 腫瘍・炎症相関 また腫瘍・免疫相関を調節する新たな作用機序
- 血管新生の抑制

【出所】 IMS Health Midas, Dec 2009

大きな市場ニーズと新たな作用機序による差別化

成長性・将来性

- 新たな作用機序、“First-in-Class”の可能性
- 多くの癌腫に有効
- 低い副作用リスク
- 予防薬の可能性



ラット関節炎モデルで関節の変性を抑制

導出交渉中

特長

- 競合既存薬の市場規模(乾癬、リウマチ性関節炎、クローン病)が平成19-21年で13,370百万ドル(約1兆1千億円)
- 自己免疫疾患に関わる免疫調節因子(IL-17・IL-23)を抑制

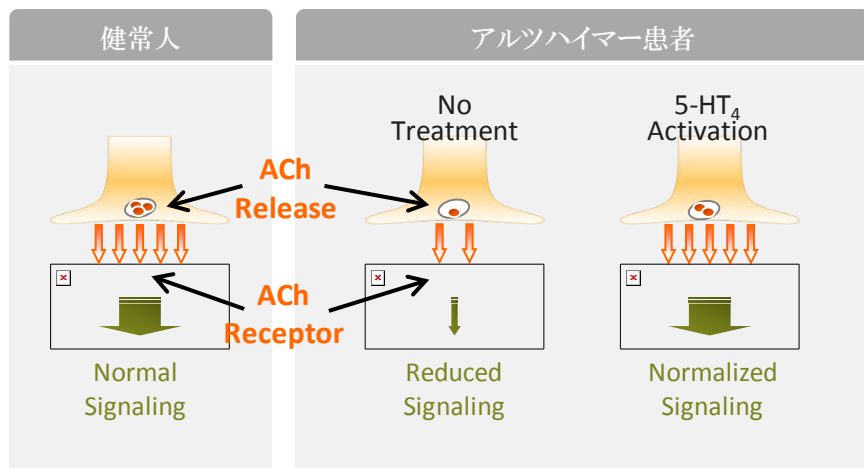
【出所】 データモニター

大きな市場ニーズと新たな作用機序による差別化

成長性・将来性

- 新たな作用機序、“First-in-Class”の可能性
- 競合既存薬からの差別化
- 前臨床試験を実施中

5-HT₄ 部分作動薬RQ-9: アルツハイマー病



導出交渉中

特長

- 競合既存薬の市場規模が平成28年予想で8,862百万ドル(約7,500億円)
- 症状の進行を一時的に遅らせるのではなく、根本的に治療・改善の可能性

【出所】 データモニター

大きな市場ニーズと画期的な薬剤の可能性

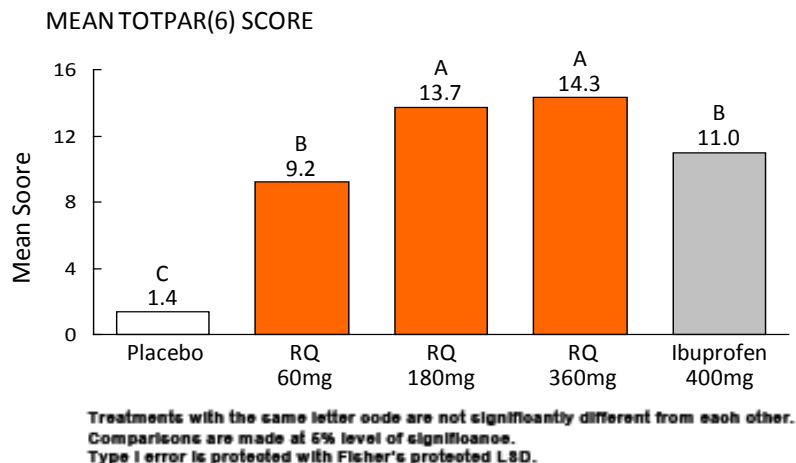
成長性・将来性

- 新たな作用機序、“First-in-Class”の可能性
- 既存薬との差別化
- 既存薬(アリセプト)とのシナジー効果

シクロオキシゲナーゼ-2 (COX-2) 阻害薬

RQ-317076: 疼痛

抜歯術後患者における痛みの軽減評価 (6時間)



導出交渉中

特長

- 臨床試験で確認された強い鎮痛作用と速効性
- 前臨床試験での腎に対する高い安全性
- 既存のコキシブ系COX-2阻害薬とは異なる基本構造の薬剤

強い鎮痛作用と速効性を持つ非オピオイド鎮痛薬として期待

成長性・将来性

- 前期第Ⅱ相試験を終了
- 既存品との差別化の期待
- 低副作用リスク
- 水溶性が高く追加剤型(注射剤)による製品価値拡大の可能性

“イオンチャネル”ターゲット

1 末梢神経の感作

- TRPM8
- TPRV4
- TRPM2
- ASIC3
- TREK1

2 痛みの末梢での伝達

- Nav1.3
- Nav1.7
- T-Ca

3 痛みの末梢から中枢への伝達

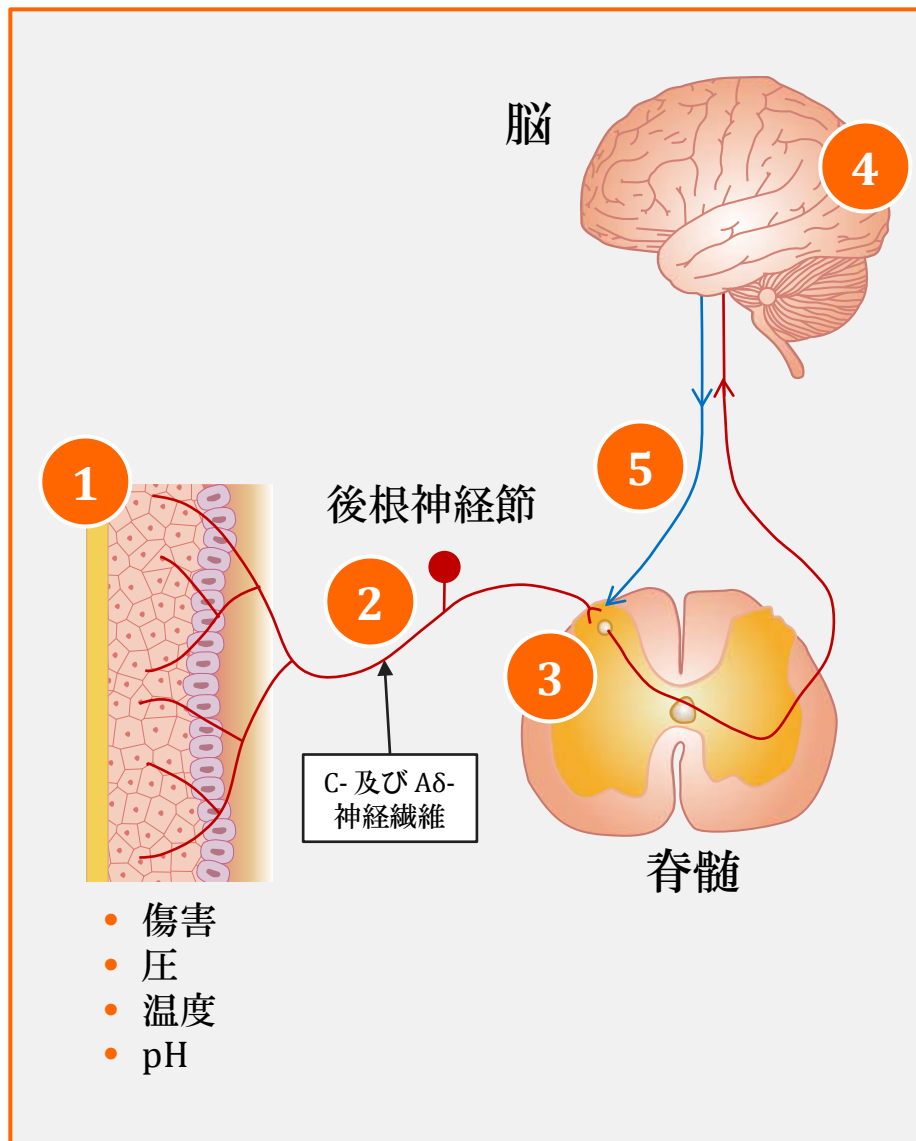
- N-Ca
- GlyRa3
- KCC2

4 痛みの受容、中枢での感作

- ASIC1a

5 痛みの下方伝達

- GIRK1/2



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に製品（研究開発プログラムおよび化合物）に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



RaQualia
innovators for life

問い合わせ先:

TEL:0569-84-0700

E-mail:当社HPからお願いいたします。

<http://www.raqualia.co.jp>

RaQualia Pharma Inc.

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2012